

30. 内視鏡的内胆汁ドレナージ (EDBD) において減黄効果維持に利胆剤と抗生物質の継続投与が有効であった胆嚢癌の1例

篠崎 正美, 加藤 敬, 端迫 清
菊野 薫, 後藤信昭, 永井 順
(沼津市立)

内視鏡的胆汁内瘻法である EDBD (Endoscopic duodeno-biliary drainage) の管理上の最大の問題点は経過中に生ずるチューブ閉塞である。チューブ閉塞に対する予防策はいくつかあげられるが、今回われわれは利胆剤である UDCA と胆汁排泄型の抗生物質であるミノサイクリンを経口投与することにより、約170日の間チューブの patency が得られた胆嚢癌の1例を経験したので報告した。

31. 放射線療法が有効であった悪性胆道閉塞の2例

江畑稔樹, 中村広志, 浅田 学
(旭中央)

悪性肝門部胆管閉塞で、放射線療法が有効であった2例を報告した。肝門部から肝内胆管に浸潤が及んでいるため、胆管炎併発の危険性を考えドレナージは行わず、50 Gy の体外照射を行い、自覚症状の改善と著明な減黄効果が得られた。今後さらに症例を重ねて予後も検討する予定である。

32. 先天性総胆管拡張症に合併した早期胆嚢癌の1例

崔 馨, 守田政彦, 柴田敦雄
中田 恒, 石井 浩, 土屋友彦
高相豊太郎 (清水厚生)

当院で手術を施行した4例の先天性総胆管拡張症を呈示し、早期胆嚢癌を合併した1症例について報告した。近年、画像診断の普及によって多くの合流異常症例がみつかるとともに、その結果合流異常に高頻度に胆道癌が合併することが指摘されている。しかも合流異常例では20歳代、30歳代という若年から胆道癌が発生している。合流異常例に対しては、胆道癌のハイリスクグループととらえ慎重な検索に基づく積極的な手術が必要と考える。

33. 仮性動脈瘤を合併した慢性膵炎の症例

鶴澤貞宏, 唐沢英偉, 福田 浩之
三上 繁, 杉浦信之, 五月女直樹
三木 亮, 上野高次
(国立横浜東)

慢性膵炎の合併症の一つである膵仮性動脈瘤の超音波像を、出血を伴わない膵嚢胞を比較したところ、1cm以上の壁の肥厚像が仮性動脈瘤を疑うべき所見であった。この壁肥厚像は、凝血塊と線維性の被膜であることが手術標本で確認された。また仮性動脈瘤の診断に Color Doppler が有用であった症例を報告した。

34. 糖尿病の経過中に発症した膵癌症例の検討

久松 隆, 黒沢孝光, 黒沢俊介
飯野康夫, 山口 一, 品川 孝
一戸 彰
(上都賀総合)

糖尿病で経過観察中に膵癌を発症した6症例を経験した。糖尿病が膵癌の high risk state であることについては今後の検討が必要であるが、糖尿病のコントロール悪化や高齢発症で肥満もなく家族歴も認められない場合には、膵癌の合併も考慮して検索する必要がある。

35. 稀な膵腫瘍の5例

黒沢俊介, 黒沢孝光, 品川 孝
一戸 彰 (上都賀総合)

われわれは最近比較的稀な膵腫瘍を経験した。症例は①粘液性膵管内腺癌、②粘液性膵管内腺腫、③膵嚢胞腺癌、④islet cell carcinoma、⑤Zollinger-Ellison syndrome の5例である。画像診断を中心に以上の症例につき、若干の文献的考察を加え報告する。

36. アルコール性肝障害で経過観察中に膵頭部腫瘍を合併した1例

野瀬晴彦, 田口忠男, 岩間章介
石原運雄 (千葉労災)
志村賢範, 塚本 剛, 鈴木 秀
(同・外科)
今野暁男 (同・病理)

症例は41歳、男性。心窩部痛と右背部痛を主訴とし、アルコール多飲歴および膵エコー所見から腫瘤形成性慢性膵炎と診断したが、膵頭部腫瘍の増大とともに閉塞性黄疸が顕在化したため、膵生検を施行し、ランゲルハンス島細胞類似の細胞の増殖を認めた。臨床症状および内

分泌学的検索では悪性の非機能性内分泌腫瘍であるが、今後外科的治療により得られた組織を用いて免疫組織化学的検索を行い、腫瘍の性状を明らかにする予定である。

37. 膵扁平上皮癌の1例

神谷 尚志, 日野真一, 隆 元英
五十嵐正彦, 上野正和, 有賀 光
(国立習志野)

症例は53歳, 女性。肝硬変症で通院加療中だったが強度の心窩部痛にて入院した。CT, エコー, ERCP 等精査の結果膵臓癌を疑ったが, 血管造影上は新生血管および腫瘍濃染像をみた。その後開腹手術行ったところ腫瘍摘除できなかったが, 術中針生検にて膵扁平上皮癌と診断した。文献上は膵の扁平上皮癌および腺扁平上皮癌の50%に血管増生像が報告されている。比較的稀な膵扁平上皮癌を経験し, 血管造影上特異な所見をみたので報告する。

一般試薬
臨床検査薬

写真薬品
輸入薬品

和光純薬工業(株)特約店

薬 研 社

代表取締役 関 昇

千葉市末広4丁目19-5
TEL 0472 (65) 4141